

「剖検脳組織を用いた遺伝子解析による神経変性疾患および精神疾患の病態解明」 に関する情報公開

当センターでは、東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンクに登録された方を対象に下記の共同研究を実施します。この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の情報等をこの研究に使ってほしくないと思われた場合、あるいは研究の詳細についてお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ担当者までご連絡ください。

●研究の名称

剖検脳組織を用いた遺伝子解析による神経変性疾患および精神疾患の病態解明

●研究の対象

2001 年 7 月 1 日～2024 年 2 月 26 日までに東京都健康長寿医療センター高齢者ブレインバンクに登録された方。

●研究の期間

倫理委員会承認後から 2029 年 3 月 31 日まで

●研究の目的

病理学的解析により確定診断がなされた神経変性疾患、及び精神疾患の脳を用いて、その遺伝子や発現を網羅的に解析し、これまでに明らかにされていない新たな病態機序を解明します。解析結果から治療標的となる分子を同定し、神経疾患の創薬シーズにつなげる予定です。

●研究の方法

健康長寿医療センターから新潟大学に匿名化された凍結脳が送られます。脳からゲノム DNA、全 RNA を抽出し、網羅的遺伝子解析、網羅的遺伝子発現解析を行います。また、蓄積タンパク質の生化学的解析や培養細胞・認知症モデルマウスへの投与実験を行います。得られたデータをインフォマティクス解析により統合し、神経変性疾患の新たな分子病態の解明を目指します。研究成果は国内外の学会発表や学術雑誌において発表される可能性があります。また、遺伝情報などは、公的なデータベースなどに登録され公開される可能性があります。その際は、個人を特定できないようにして公表いたします。

●研究に使用する試料・情報

高齢者ブレインバンクに蓄積されている神経変性疾患（アルツハイマー病、レビー小体型認知症、前頭側頭葉変性症、血管性認知症、進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、ピック病、各種タウオパチー、大脳白質変性症、多系統萎縮症、筋萎縮性側索硬化症等）、精神疾患、及び対照となる症例の脳組織とそれに付随する臨床および病理学的情報

●研究責任者

東京都健康長寿医療センター 神経病理／高齢者ブレインバンク 齊藤祐子

●研究組織

東京都健康長寿医療センター	神経病理	齊藤祐子（研究責任者）
東京都健康長寿医療センター	神経病理	村山繁雄
東京都健康長寿医療センター	病理診断科	<u>新井 富生</u>
新潟大学 脳研究所		宮下 哲典（研究代表者）
新潟大学 脳研究所		池内 健

●お問い合わせへの対応

本研究に関するご質問や資料閲覧のご希望は、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

研究計画書や研究方法に関する資料については、ご遺族の希望に応じて、他の研究対象者や研究者に不利益が及ばない範囲内で、ご覧になることができます。また、研究への協力撤回を表明された場合は、速やかに研究での利用を停止いたします。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることはございません。しかしながら、すでに研究に使用されていた場合には、結果の削除など十分なご対応ができない場合がありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

東京都健康長寿医療センター

神経病理/高齢者ブレインバンク 齊藤祐子

電話 03-3964-3241 内線 4419（平日 9:00~17:00）